



迅速で正確なポンプ操法競う

第23回明和消防団ポンプ操法競技大会が7月6日、団員ら関係者約210人が参加して社会体育館

西側駐車で行われました。競技は、団員の志気高揚と消火技術の向上を図ることが目的。各団員が消防車からホースを延ばし標的に放水するまでのタイムや迅速な行動、確実な動作などを競い合いました。大会には、町内3分団から6チーム36人の選手が出場。団員は、規律のとれた連携プレーで素早く操作するなど、真剣な表情で訓練の成果を発揮していました。



真剣な眼差しで放水を行う消防団員

斎藤町長は「全団員が住民の身体・生命・財産を守るため、チームワークの良さをはじめ個々の技術の向上を目指し、日々の努力の成果を心強く感じました」と講評を述べました。

なお、大会成績は次のとおりです。
(敬称略)



競技大会に臨む消防団員

団体(自動車ポンプの部)
優勝 第3分団第1班
準優勝 第3分団第2班
3位 第2分団第2班
個人(同)

優秀賞
・指揮者 角田久夫(矢島)
・1番員 中村隆夫(須賀)
・2番員 照内健司(矢島)
・3番員 清水 稔(矢島)
・4番員 柴崎博志(梅原)



個人優秀賞を受賞した皆さん(町長・消防団長らを囲んで)



優勝した第3分団第1班の皆さん(町長・消防団長らを囲んで)